

られる患者さんも多いんです。

陽子：開業して5年で、やっと地元の皆さんの仲間入りができつつあるかなあという感じですね。

夫唱婦随でも婦唱夫随でもなく、互いの得意点を生かして

陽子：私は森ノ宮を卒業後、鍼灸師となって(有)尼崎鍼灸センターに勤め、現在もそこで働いていて、午前中は吉田と一緒にここで治療し、午後から尼崎という状態です。体力的にはハードですが、私は鍼灸師として自分の技術を100%生かせる場所があることが、むしろプラスに働いていると思います。

それから、吉田とぶつかりそうになっても半日なのでなんとかクリアできますし(笑)。

吉田：それが大きいかも(笑)。

陽子：来院される患者さんは赤ちゃんから90歳のお年寄りまで幅広く、私は小児鍼や女性の患者さんの婦人科疾患等を中心に診て、吉田が男性を中心に打撲や骨折、スポーツ障害等々を診ます。

吉田：僕は整骨がメインなので、筋肉の痛みや疲労を取ったりといった柔道整復よりの鍼灸。同じ鍼灸を使うのでも、ちょっと考え方が違います。だから内科的なアプローチをする必要があると思う患者さんの場合は彼女に任せるようにしています。

陽子：患者さんに応じてそれぞれの得意とする治療をし、わからないところは互いにアドバイスし合っているって感じですね。一緒に治療するようになって初めてわかったことも多くて、それが互いに良い刺激になるし、自分では気づかないところを気づかせてくれたりします。同じ立場だったら、かえって反発し合ったりすることもあるかもしれません。

柔道整復師の本来の仕事は治療にある

陽子：このあたりも鍼灸院や整骨院は、本当に増えました。5年前はこの商店街には1軒あるかないかという状態だったのが、現在は3、4軒あります。

吉田：ただ、医療として見た場合、その中の何軒が柔道整復本来の施術や治療を行っているかという、かなり疑問に思っているんです。多くが慰安を施すレベルじゃないかと。

柔道整復師の役割は、まず治療です。筋肉の疲労を取ったり、正しく整復したり、そのために技術を磨いていく。森ノ宮で教えてもらったのが“治療としての柔道整復”、そしてどんな状況にも対応できる技術力と応用力を持つこと。それらを1期生として吉川先生を筆頭に熱い先生方から十分に教えていただきました。それらを実際に治療院で実行していきたいと思っています。…まだまだですが。

せっかく取った資格は活かしてほしい

陽子：このところ鍼灸師や柔道整復師の養成校が随分増えて、有資格者も当然増えています。就職先の問題もあるでしょうが、3年という時間を費やしてせっかく資格を取っても鍼灸師、柔道整復師にならない方が結構いると聞きます。本当にもったいないことです。

吉田：そう、鍼灸も柔整もどちらも一生の仕事にするに値する素晴らしい医療ですからね。

陽子：より幸せにする、グレードアップするのを手助けする仕事は世の中にたくさんありますよね。でも、鍼灸と出会って、ああ、この仕事はそれらとは違って、痛いとか辛いとか、言ってみればマイナスの状態を

普通に持って行ってくれるものだと考えたんです。私は特にスポーツで大きなケガをして鍼灸のお世話になったという経験があるわけではないですが、なんかそういう仕事っていいなあと思うんです。

吉田：痛みを取ったり、しっかり固定をして元の状態に戻すためにちゃんと治療をしようとするとなんか時間がかかります。でも、時間をかけてやるのは当たり前で、そういう僕たちのやり方を患者さんはちゃんとわかってきているから続けて来てくれるんだと思います。

…もちろん今でも悩みながらやっていて、開業して自分で治療をするようになって改めてもっと学生時代に勉強をしていたらよかったと思っているんです(笑)。



よしだ鍼灸整骨院

〒547-0044

大阪市平野区平野本町3-3-25

Tel: 06-6795-1226

(アクセス) 大阪地下鉄谷町線平野駅下車徒歩10分、又はJR環状線平野駅下車徒歩5分。平野本町通商店街。

診療時間(受付)

月~土: 午前9:00~12:00

午後3:00~8:00

休診日: 第2・4木曜午後、日曜、祝祭日

※保険取扱い可



入口前で:真規先生(左)・陽子先生(右)